

なみき そうすけ
並木 宗輔

1695（元禄8）年～1751（寛延4）年

江戸時代の、浄瑠璃・歌舞伎の作者です。

三原の成就寺の僧侶で、名まえは断継といいました。

30歳ころに僧侶をやめ、大阪に出て浄瑠璃・歌舞伎のものがたりを書く作者になりました。

はじめは、豊竹座という劇場の作者として活躍し、作品の評判がよく多くの名作を残しています。この時代には、ほかの作者と共同して書いた作品もたくさんあります。作品の内容は、全体として悲しくて暗い感じのものが多くみられました。

その後、竹本座の作者になると、今までの暗さがいくらか和らいだ作品を書いています。

宗輔の最初の作品は、「北条時頼記」です。そのほか代表作には、「義経千本桜」
「仮名手本忠臣蔵」「源平布引滝」などがあります。

※浄瑠璃 = 三味線に合わせて語る物語

※歌舞伎 = 江戸時代にひろまった日本独特の演劇

